

# BTMU ASIA WEEKLY

Vol. 14

## 【政治・経済トピックス】

### ◎インドネシア

#### ◆ブカシ県の最低賃金問題、経営者側が譲歩し収束へ

2012年の最低賃金引上げを巡る労働組合とインドネシア経営者協会(Apindo)の対立から、インドネシア西ジャワ州ブカシ県(ジャカルタの東隣)で大規模なデモが発生する事態となっていた問題は、同日夜、Apindo側が譲歩する形で収束した。

#### ☑ ポイント

- ・ 問題の発端は、ブカシ県の今年の最低賃金が、州知事令により昨年11月に前年比+15.97～30.81%と例年の上昇率や最近のインフレ率を大きく上回る水準で決定されたこと。
- ・ 2012年半ばに予定されている県知事選に向けた票集めとも言われるこの大幅引上げに対し、Apindoが州の行政裁判所に不服を申立てたことから労使間の対立が表面化し、労働組合側は今月半ばから各工業団地で小規模なデモを含む抗議活動を繰り返していた。
- ・ こうしたなか、26日に行政裁判所がApindo側の主張を認め、昨年11月の州知事令で決定した最低賃金を無効とする判決を下したことに労働組合側が強く反発。翌27日には同県内の7つの工業団地で約2万人が参加する大規模なデモが発生し、日系企業を含む約2千社が操業を見合わせる事態となった。
- ・ このデモによる操業停止や高速道路の封鎖による損害は、1,000億ルピア(約8.6億円)に上ったとも言われているが、対立の長期化による損害の拡大を憂慮したApindo側が27日夜になり、昨年11月の州知事令に近い下記の水準を受け入れたことから、漸く労使間の合意が成立した。
  - ブカシ県最低賃金=149.1万ルピア(前年比+15.9%)
  - 産業別最低賃金のうち第1グループ(金属、輸送機器、機械等)=同+30.75%
  - 第2グループ(食品、繊維等)=同24.59%
- ・ アセアン最大の人口(2億4千万人)を有するインドネシアには、労働力と内需市場を求めて日系企業の進出も相次いでいるが、今回の一件により浮き彫りになった順調な経済成長の影に潜む賃金上昇圧力には、国内他地域への波及を含め注意を要する。

### ◎ミャンマー

#### ◆EU、経済制裁緩和へ

欧州連合(EU)は23日のEU外相理事会でミャンマーに対する経済制裁を段階的に緩和する方針

## BTMU ASIA WEEKLY

を決定。同国の正副大統領、閣僚、国会議長らに科せられていたビザ発給の禁止措置が4月下旬までに解除される見通しとなった。

### ☑ ポイント

- ・ 「アウンサンスーチー氏との関係改善」、「政治犯の釈放」、「少数民族の武装勢力との停戦合意」等々、2011年3月の軍事政権から民政への移行とともに就任したテインセイン大統領は、矢継ぎ早に民主化政策を実行しており、ミャンマーに対する国際社会からの評価は急速に高まっている。2014年にはASEAN議長国就任が決定しているほか、昨年末からは欧米の閣僚による訪問が相次ぎ、日本の玄葉外相も先月26日の訪問で同国と投資協定締結に向けた交渉入りで合意するなど、欧米の経済制裁解除を睨んだ外交が活発化していた。
- ・ 米国の制裁解除には、EUとは異なり議会での関連法案改正が必要なため、今暫く時間を要すると見られるが、天然資源に恵まれ、タイに迫る約62百万人の人口を抱えるミャンマーは、投資対象として非常に大きな可能性を秘めており、今回のEUの決定により、米国の制裁解除を含め、ミャンマーの国際社会への復帰の動きが一段と加速することになる。

## ◎インド

### ◆預金準備率 0.5%引下げ

インド準備銀行(中銀)は24日の金融政策会合で政策金利を8.5%に据え置く一方、実質的な金融緩和効果を狙い、銀行の預金準備率を6.0%から5.5%へ引下げること決定した。

### ☑ ポイント

- ・ インドは、リーマン・ショック後も安定した経済成長率を維持してきた反面、大幅なインフレが進行したことから、中銀が2010年初から2011年10月にかけて利上げを実施した。しかしながら、昨年後半から欧州債務国問題を背景にインド経済の減速懸念が強まったにも拘わらず、中銀はインフレの高止まりと通貨ルピーの急落により金融引締めを維持せざるを得ず、金融政策の手足を縛られる状態に陥っていた。
- ・ こうしたなか、2012年に入り漸くインフレに減速の兆しが見え始めてきたことに加え、ルピー相場も落ち着きを取り戻していることから、中銀は実質的な金融緩和となる今回の預金準備率の引下げ(2009年1月以来3年ぶり)に踏み切ったもの。
- ・ 尚、同日中銀は、今年度(2011年4月～2012年3月)のGDP成長率予想を、昨年10月に公表した前年比+7.6%から同+7.0%に下方修正したほか、国際通貨基金(IMF)も2012年の成長率を前年比+7.5%から同+7.0%に、2013年を同+8.1%から同+7.3%にそれぞれ昨年9月時点の予想から下方修正している。
- ・ 中銀のスバラオ総裁は、現時点で政策金利の引下げは時期尚早とした上で、今回の預金準備率引下げにより、金融システムに対し3,200億ルピー(≒4,290億円)の流動性供給効果が見込めるとコメントしているが、今後、経済成長率の維持に向け、成長率、物価動向、ルピー相場等を睨みながら、政策金利引下げのタイミングを計って行くものとみられる。

## ◎タイ

### ◆政策金利 0.25%引下げ

タイ中央銀行(BOT)は 25 日に開催した金融政策決定会合(MPC)で、政策金利(翌日物レポ金利)を 3.25%から 3.00%に 0.25%引下げを決定し、即日実施した。

#### ☑ ポイント

- ・ リーマン・ショックによる落ち込みから、タイ経済の回復が鮮明となるなか、2010 年 7 月に金融引締めへ転じた BOT は、同年 10 月を除き 2011 年 8 月まで計 9 回の MPC で 0.25%ずつ利上げを実施し、安定的な経済成長とインフレ抑制の両立に努めてきた。
- ・ しかしながら、昨年後半、タイを襲った大洪水の被害拡大を受け、10 月 19 日の金利据置きを経て、11 月 30 日に 2009 年 4 月以来となる利下げ(▲0.25%)を行っていた。
- ・ BOT は、今回の追加利下げ実施について、以下を理由に挙げているが、今後の景気動向次第では、もう一段の金融緩和実施の可能性もあろう。
  - 昨年後半の大洪水による被害の影響が予想以上に大きく、本格的な回復が本年第 3 四半期までずれ込む見通しであること
  - 欧州債務問題による世界経済の減速懸念が広がっていること
  - 世界的な需要減退でインフレ圧力が後退していること

### ◆タイ政府とバンコク都が洪水対策の協定締結

タイ政府は 26 日、今後の洪水対策で首都行政機能を担うバンコク都と堤防補修、運河の浚渫(しゅんせつ)、洪水警報システムの構築等 12 項目からなる協定を締結した。

#### ☑ ポイント

- ・ 昨年の大洪水では、バンコク都内の一部にも浸水被害が及んだが、防災対策や避難指示等がタイ政府とバンコク都で食い違うなどの混乱が生じ、大きな問題となっていた。
- ・ 政府とバンコク都による今回の協定締結により、今後は効果的な防災対策の実施が可能になると期待されている。
  - タイ政府は、各種対策費用として予算から 19 億バーツを支出
  - バンコク都は、運河沿いの堤防補修、運河の浚渫、排水、ポンプの設置などを進め、また工事には軍も投入する
  - バンコク都は、上記に加え政府が整備する洪水警報システムにリンクするシステムを共同開発し、水管理の効率化を図る

# BTMU ASIA WEEKLY

## 【日系企業動向】

### ◎最近プレスリリースされた主な新規進出・増設等の案件

| 進出先  | 親会社  | 現地法人(資本金)   | 主要業務                   |
|------|--|---|------------------------|
| タイ   | 住友電気工業株式会社   | SEI Thai Electric Conductor Co., Ltd.(仮称)<br>(資本金11.1億バーツ)  | 銅荒引線伸線、アルミ棒材の製造・販売     |
| タイ   | 東洋ゴム工業株式会社   | TOYO RUBBER CHEMICAL PRODUCTS LIMITED (65百万バーツ)             | O.A.機器用クリーニングブレード製造、販売 |
| タイ   | 盟和産業株式会社(49%)  | MEIWA INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.<br>(2,百万バーツ)            | 自動車内装部品販売              |
| ベトナム | 信越化学工業株式会社   | Shin-Etsu Electronics Materials Vietnam Co., Ltd(投資額30億円)   | 高輝度LEDパッケージ材料の生産       |
| ベトナム | 信越化学工業株式会社   | Shin-Etsu Magnetic Materials Vietnam Co., Ltd.<br>(投資額20億円) | レア・アースの分離精製            |
| インド  | 三菱電機株式会社(30%)<br>Mitsubishi Electric Asia Pte.Ltd(70%) | Mitsubishi Electric India Pvt.Ltd<br>(5億ルピー／販売代理店買取)        | 半導体、映像情報機器の販売及びサービス    |

(企業のウェブページ等で公開されている案件。すべての日系企業動向を網羅していない点、ご了承下さい)

## 【先週の市場動向と今週の主な予定】

|        | 対米ドル相場   |                 |         | 対円相場  |              |       | 主要金利    |               |       | 株価        |                  |         |
|--------|----------|-----------------|---------|-------|--------------|-------|---------|---------------|-------|-----------|------------------|---------|
|        | 先々週      | 先週              | 前週比     | 先々週   | 先週           | 前週比   | 先々週     | 先週            | 前週比   | 先々週       | 先週               | 前週比     |
| 韓国     | 1,134.30 | <b>1,123.20</b> | -11.10  | 6.69  | <b>6.84</b>  | +0.15 | 3.3900  | <b>3.3900</b> | +0.00 | 1,949.89  | <b>1,964.83</b>  | +14.94  |
| フィリピン  | 43.275   | <b>42.850</b>   | -0.4250 | 1.76  | <b>1.79</b>  | +0.04 | 4.2500  | <b>4.2500</b> | +0.00 | 4,747.90  | <b>4,679.89</b>  | -68.01  |
| シンガポール | 1.2715   | <b>1.2510</b>   | -0.0205 | 59.45 | <b>61.38</b> | +1.93 | 0.3333  | <b>0.3333</b> | +0.00 | 2,849.38  | <b>2,916.26</b>  | +66.88  |
| マレーシア  | 3.1080   | <b>3.0420</b>   | -0.0660 | 24.51 | <b>25.24</b> | +0.73 | 3.0900  | <b>3.0900</b> | +0.00 | 1,522.66  | <b>1,520.90</b>  | -1.76   |
| タイ     | 31.53    | <b>31.08</b>    | -0.45   | 2.41  | <b>2.47</b>  | +0.06 | 3.0000  | <b>3.0000</b> | +0.00 | 1,058.66  | <b>1,076.29</b>  | +17.63  |
| インドネシア | 9.010    | <b>8.988</b>    | -22     | 0.83  | <b>0.85</b>  | +0.02 | 4.1000  | <b>4.0500</b> | -0.05 | 3,986.52  | <b>3,986.41</b>  | -0.11   |
| インド    | 50.325   | <b>49.310</b>   | -1.0150 | 1.49  | <b>1.56</b>  | +0.07 | 8.8250  | <b>9.4500</b> | +0.63 | 16,739.01 | <b>17,233.98</b> | +494.97 |
| ベトナム   | 20.810   | 休場              |         | 0.37  | 休場           |       | 13.5000 | 休場            |       | 373.00    | 休場               |         |

※週末終値(シンガポール、タイ:オフショア市場レート。その他、当該国オンショア市場レート)

※主要金利(シンガポール、マレーシア、韓国:銀行間1ヶ月もの金利。その他、同翌日物金利)

※株式市場(当該国市場の代表的な株価指数週末終値)

#### ●アジア通貨サマリー

先週のアジア通貨は、総じて対米ドルで上昇した。週前半は旧正月による休日の国も多く、薄商いであったが、24～25日の米FOMCで低金利政策を2014年終盤まで続ける方針が示されたことで、ドル売りの動きが幾分強まった。欧州債務問題への懸念は足許一服しているものの不透明感は依然強く、今週のアジア通貨は弱含みで推移すると予想する。

#### ●韓国ウォン

先週のウォンは、1,129で寄りつき堅調に推移した。米FOMCで低金利政策を維持する方針が示されると、一時1,120.3まで上昇したが、その後はドル買いウォン売り介入に対する警戒感から伸び悩んだ。欧州債務問題に対する不透明感は依然強く、今週のウォンは上値の重い展開を予想する。

〈今週・来週の主な予定〉 30日(月)経常収支(12月)、31日(火)鉱工業生産(12月)、1日(水)消費者物価指数(1月)、貿易統計(1月)、2日(木)～4日(土)外貨準備高(1月)

## BTMU ASIA WEEKLY

### ●フィリピン・ペソ

先週のペソは 43.100 で寄りつき、米 FOMC で低金利政策を維持する方針が示されたことを受け、一時 42.775 まで上昇したが、週末にかけて小反落し、42.850 で越週した。米低金利政策継続を背景にフィリピン国内市場への資金流入が見込まれることから、今週はペソが強含みに推移しよう。

〈今週・来週の主な予定〉 30 日(月)GDP(4Q)

### ●シンガポール・ドル

1.27 台前半で寄りついたシンガポール・ドルは、米 FOMC で低金利政策を維持する方針が示されたことを受け、そのまま高値圏で越週した。今週は米雇用統計等を睨みつつ様子見の展開を予想する。

〈今週・来週の主な予定〉 31 日(火)マネーサプライM2(4Q)、失業率(1 月)

### ●マレーシア・リンギット

先週のリンギットは、米 FOMC にて低金利政策を維持する方針が示されたことを受け 3.03 台後半まで上昇し、そのまま高値圏で越週した。今週は引続き不透明な欧州債務問題を睨み、上値の重い展開を予想する。

〈今週・来週の主な予定〉31 日(火)金融政策決定会合

### ●タイ・バーツ

31.54 で寄りついた先週のバーツは、タイ中銀の利下げを受け 31.615 まで下落する場面も見られたが、米 FOMC で低金利政策を維持する方針が示されると 31.021 まで上昇し、高値圏で越週した。今週は引続き不透明な欧州債務問題を睨み、上値の重い展開を予想する。

〈今週・来週の主な予定〉 特になし

### ●インドネシア・ルピア

先週のルピアは 8,980 で寄りつくと、もみ合いの後、8,988 で引けた。今週は、引続き欧州債務問題の先行きを巡る不透明感から上値の重い展開を予想する。

〈今週・来週の主な予定〉 1 日(水)貿易統計(12 月)、輸出(12 月)、輸入(12 月)、1 日(水)~15 日(水)GDP(2011 年)、3 日(金)~6 日(月)外貨準備高(1 月)

### ●インド・ルピー

先週のルピーは 50.305 で寄り付くと、中銀が預金準備率を 0.50%引き下げたことが好感され、一時 49.2975 まで上昇し、そのまま高値圏で引けた。今週は、欧州債務問題を睨みつつ、もみ合いを予想。

〈今週・来週の主な予定〉 1 日(水)輸出(12 月)、輸入(12 月)

※ 本資料は信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその信頼性、安全性を保証するものではありません。また本資料は、お客さまへの情報提供のみを目的としたもので、当行の商品・サービスの勧誘やアドバイザーフィーの受入れ等を目的としたものではありません。投資・売買に関する最終決定はおお客様ご自身でなされますよう、お願い申し上げます。

(編集・発行) 三菱東京 UFJ 銀行 国際業務部

Tel 03-5252-1645